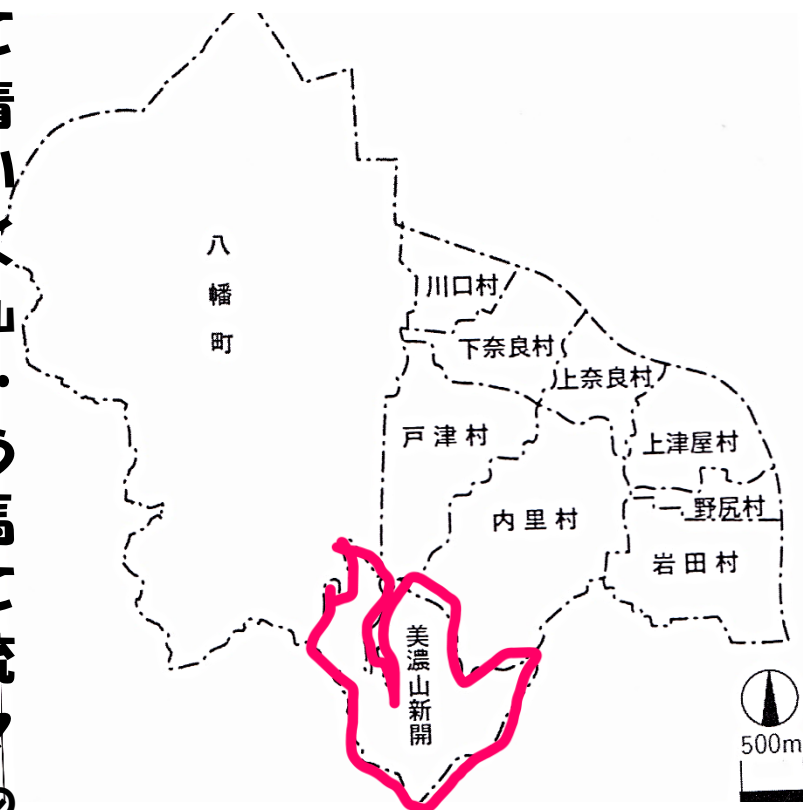


出口修さんは前回に続き、美濃山の歴史について話して下さいました。地名の由来は八幡宮家の別当垂井光清(1083~1137)の三女的美濃局がその地に住み、鳥羽院に嫁いだことから。また子どもも生まれ、父の光清の立場も強くなったようです。1695年江戸時代に摂州山崎町(今の大山崎)等からの新開発の願い出があったけれど、内里・戸津・岩田・松井の4ヶ村からの反対がありました。何故かというとその4つの村は美濃山に接していて、薪をとったり、牛馬を飼育して田畑の肥料にする下草を刈り取る権利を持っていたからです。しかも溜池が1か所あって開発で土砂が流れ出し洪水が。そのことに依って、それぞれの村内の人々の暮らしが成り立たなくなります。でもその後南山(美濃山の八幡宮領に属する)は開発がおこなわれました。



- ① 日時 2025年1月23日(木)13時30分~
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円

**八幡まるごと館** / 八幡市男山松里12-20 (TEL&FAX) 07  
5-983-3664  
(E-MAIL) [yawata@marugotokan.net](mailto:yawata@marugotokan.net) 作られた  
ホームページは <http://marugotokan.net/>  
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。